



安芸高田市建設業協会が総会

和田理事長ら役員留任

【冒頭】和田理事長は「年初の安全祈願祭でも話しの他の全役員も留任した。置つけ、資材購入販売事業の拡充やシートパイプ工法の継続など様々な事業に取り組み、将来的には会費収入に頼らない運営を目指す。皆さんの協力を願いたい」と挨拶。新規事業として、普及は5月1日



【通常総会】安芸高田市建設業協会、5月28日に島根会場(松江テルサ)、29日に鳥取会場(とりぎん文化会館)、30日には岡山会場(岡山コンベンションセンター)でそれぞれ開催され、官庁の補修担当者やコンサル関係者ら延べ約130人が出席。補修の基礎知識と最新の対策工法について学んだ。

あじろ徳納会長



JCMA「コンクリート補修フォーラム」 島根・鳥取・岡山で開催



【(一社)コンクリートメンテナンズ協会(JCMA、徳納武使会長)の主催による全国25カ所で開催されている「コンクリート構造物の補修・補強に関するフォーラム」が、5月28日に島根会場(松江テルサ)、29日に鳥取会場(とりぎん文化会館)、30日には岡山会場(岡山コンベンションセンター)でそれぞれ開催され、官庁の補修担当者やコンサル関係者ら延べ約130人が出席。補修の基礎知識と最新の対策工法について学んだ。

【冒頭の主催者挨拶で徳納会長は「コンクリート補修は難しいと言われるが、正しい調査・診断から補修設計、工法選定へとシナリオに沿って進めば実はそんなに選択肢は多くないし、決して難しくはない」と強調。本日は塩害・中性化による鉄筋防錆への対策工法の代表格である亜硝酸リチウムを使用した工法に加え、最近特に注目されている塗膜型剥落防止工法も紹介させていただき、ぜひ、参考にさせていただければと述べた。

講演は「コンクリートの劣化と補修工法選定の考え方」講師「極東興和・江良和徳工博士」と「コンクリートの剥落防止と塗膜型剥落防止システム」(日本ペイント販売の2本立て。江良氏はコンクリート劣化のメカニズムの基本と劣化症状に応じた補修工法の選定について丁寧に解説したのち、鉄筋腐食抑制やASR膨張抑制に効果的な工法とされ、全国でも多くの施工実績をあげている。来年4月の供用開始を目指す「くろくろ」方針も明らかにした。

【冒頭】和田理事長は「年初の安全祈願祭でも話しの他の全役員も留任した。置つけ、資材購入販売事業の拡充やシートパイプ工法の継続など様々な事業に取り組み、将来的には会費収入に頼らない運営を目指す。皆さんの協力を願いたい」と挨拶。新規事業として、普及は5月1日

【通常総会】安芸高田市建設業協会、5月28日に島根会場(松江テルサ)、29日に鳥取会場(とりぎん文化会館)、30日には岡山会場(岡山コンベンションセンター)でそれぞれ開催され、官庁の補修担当者やコンサル関係者ら延べ約130人が出席。補修の基礎知識と最新の対策工法について学んだ。

【6月の「監理技術者講習」】総合資格学院広島校が開く
建築関連の資格取得スクール・総合資格学院を運営する(株)総合資格(本社「東京」は6日、広島校(広島市中区中町7-35)で25年度6月の国土交通大臣登録「監理技術者講習」を開催した。

【現場の「見える化」を】飛鳥建設中国支店
飛鳥建設(株)中国支店と、「ものづくり」は多くの職人による混在作業。混在作業では「必ず現場で決めたルールを守る」の現場の人が自ら気付くような「見える化」の2点を改めて認識し、ものづくりの原点である関係者約110人が参加し、強い決意で災害防止活動に取り組みむことを通して皆さんとともに社会に貢献する企業をめざしていきたい」と述べた。

【「職場トラブルを防ごう」】広島県経営者協会が開く
テーマに「職場トラブルを防ごう」をテーマにした懇談会を開催した。また、来賓出席した同

【安全大会】飛鳥建設中国支店
飛鳥建設(株)中国支店と、「ものづくり」は多くの職人による混在作業。混在作業では「必ず現場で決めたルールを守る」の現場の人が自ら気付くような「見える化」の2点を改めて認識し、ものづくりの原点である関係者約110人が参加し、強い決意で災害防止活動に取り組みむことを通して皆さんとともに社会に貢献する企業をめざしていきたい」と述べた。

